

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

## 入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 7126

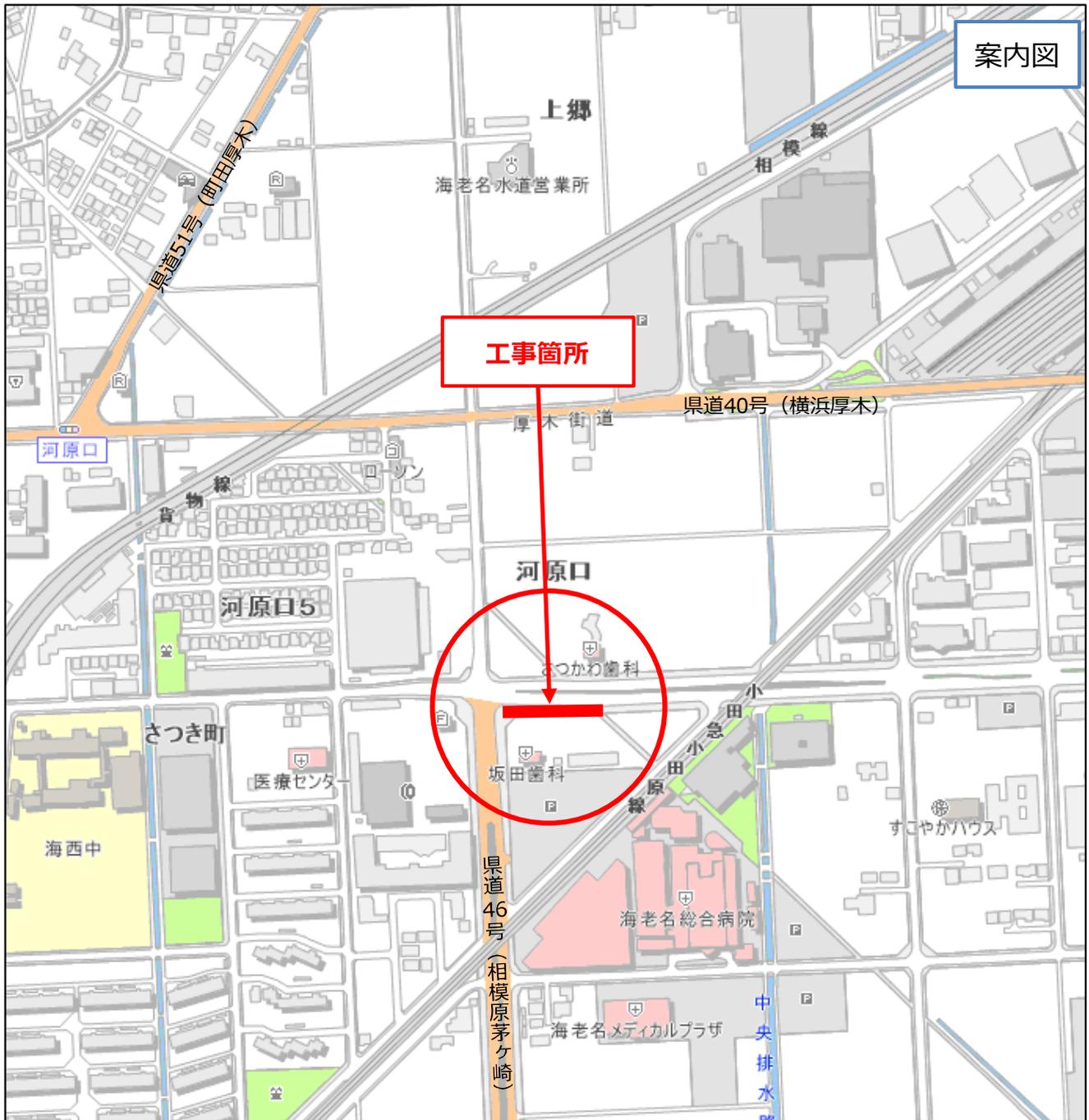
件名	公共下水道 21 分区枝線工事	
履行場所	海老名市 河原口六丁目 地内	
工期	令和 7 年 6 月 11 日～令和 7 年 10 月 31 日(143 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	14,201,000 円 (税込)	12,910,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	010 土木一式 経審 一点以上 一点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円 (建築一式工事の場合は8千万円) 以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり (第 1 区分及び第 2 区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで) 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任 (監理) 技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していることを証する書類の写し。(次の (1) ~ (3) のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書 (経営事項審査) の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働 (雇用) 保険料の領収書の写し (3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書	
入札時提出 (システム添付)		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書 (工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへは PDF 化して添付してください。</u>	
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)		開札後、落札候補者は次の書類を FAX で提出してください。 (落札候補者決定の翌開札日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 <u>※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号 (3 箇所) にマスキング (黒塗り) をして提出してください。</u>	

# 案内図

工事名称 : 公共下水道21分区枝線工事

工事場所 : 海老名市 河原口六丁目 地内



# 工事説明書

(特記仕様書)

工事件名:公共下水道21分区枝線工事

工事場所:海老名市 河原口六丁目 地内

## 1 目的

本工事は、公共下水道汚水施設を整備することにより、地域住民の衛生環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図るために実施するものです。

## 2 工事概要

工事延長 L=72.0m

管渠工 1式 VUφ200 L=70.0m

マンホール工 1式 1号人孔:2基

付帯工 1式 仮復旧工

仮設工 1式 交通誘導員

## 3 仕様(施工管理)

- 本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び海老名市土木工事施工管理基準に準じて施工すること。
- 原則として、アスベストを原料としない建材を用いて施工すること。また、使用材料については、アスベストを原材料としない旨の証明書をメーカーより提供させ、監督職員の確認を得ること。
- 海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し、提出することとするが、詳細については、監督員と協議し、決定する。
- 本工事請負業者は、再生砂(RC-10)を使用する場合、製造者側から試験結果報告書を入手し、六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けること。
- 上記以外の内容については、監督員と協議すること。また、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

## 4 工程管理

- 契約工期 令和7年6月11日 から 令和7年10月31日 まで

## 5 安全対策

- 工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者、道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。
- 特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないよう、安全対策(安全柵・チューブライト等)を行うこと。  
尚、特に夜間の安全管理については、留意すること。
- 風雨が強い場合、工事現場の見周りをを行い、工事看板、仮囲い、仮設電力、重機等に破損、転倒等が無いか確認し、監督員に状況を報告すること。  
また、気象情報で注意報及び警報が発令された場合においては、特に留意すること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

## 6 仮設備関係

- ・ 工事用水等は、請負業者の負担とする。
- ・ 仮設備(現場事務所等)を設置する場合は位置、規模等について監督員の承諾を得ること。

## 7 道路交通関係

- ・ 本工事は、近隣住民の生活を最優先し**昼間施工**することとする。
- ・ 看板による工事予告及び迂回のお願いは、工事着手日の原則1週間以上前から行うこと。  
十分な周知を行わない限り、現場着手を認めない。
- ・ 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。
- ・ 一般道路を使用するときは、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。
- ・ 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

## 8 海老名環境マネジメントシステム関係

- ・ 本工事は、海老名環境マネジメントシステムの公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、発注者の伝達事項を遵守し、下表の事項に留意し施工すること。

作業	配慮事項
掘削	排出土の発生を抑える整備内容・構造を検討する
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える
排出土処理	極力現場内での利用を図る
	搬出する場合は他の市内工事での利用を図る
	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石、再生砂を使用する
コンクリート取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する(マニフェスト管理)
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える
アスファルト取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する(マニフェスト管理)
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える
構造物	二次製品を積極的に使用する
	基礎材は再生砕石および再生砂を使用する
	熱帯材以外のコンクリート型枠を使用する
路盤工	路盤材に再生粒度調整砕石、再生砕石、As安定処理材を使用する
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない

## 9 工事全般

- ・ 事前調査は十分に行い、不明確な部分については工事打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。  
なお、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。
- ・ 工事に際し、現場代理人および主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人においては、作業中現場に常駐すること。
- ・ 現場から発生する不要物等が、民地部に飛散、流出等しないよう必要な処置を講じること。
- ・ 現場で市民等により工事内容の説明を求められた際は、説明責任を果たすこと。
- ・ 騒音・振動及び粉塵等工事沿線住民に対し、不利益になりうることは工事期間及び時間等、十分に配慮し、施工にあたること。
- ・ 撤去殻は大きな音が出ないように投げたりせず、静かに積み込みを行うこと。また、重機等の重量物を移動する際は、ゆっくりと正確に行うこと。
- ・ 施工工程全般において、5cm以上の段差を生じさせないこと。
- ・ 乳剤の散布を行う場合は飛散防止の養生を確実に行うこと。また、合材運搬車両等の工事車両は乳剤を付着させたまま、既設道路を走り、舗装面を汚さないように対策を講じること。  
万が一、既設道路を汚してしまった場合は、請負者で責任をもち清掃すること。
- ・ ゴミ集積所が工事区間内にある場合は、関係部局へ届け出ること。
- ・ 関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち、責務を果たすこと。

## 10 関係官公庁その他への手続き

- ・ 請負者は、業務を実施するため、関係官公庁等に対する諸手続きが必要な場合は、速やかに行うものとする。

## 11 土地への立入り等

- ・ 請負者は、業務を実施するために国有地、公有地又は私有地に立ち入る場合は、関係者と十分な協調を保ち、監理業務が円滑に進捗するように努めなければならない。なお、やむを得ない理由により、現地への立ち入りが不可能となった場合には、直ちに監督職員に報告し、協議しなければならない。

## 12 守秘義務

- ・ 請負者は、業務の処理上で知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

## 13 履行報告義務

- ・ 請負者は、着手前と毎月末に履行報告書を提出し、業務進捗状況を報告するものとする。  
なお、様式は指定様式とし、実施比較表を添付の上、進捗状況が詳細に認出来る様記載するものとする。

## 14 その他

- ・ 本作業を進める上で疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議の上、実施するものとする。また、協議については書面(打合せ記録簿)で行うものとする。  
また、本特記仕様書及び別紙施工条件明示書に定めのない疑義事項については、監督職員と協議のうえ、履行するものとする。
- ・ 請負者は、上記事項をすべて理解した上で工事契約及び施工にあたること。

## 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

### (趣旨)

第1条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

### (適用)

第2条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

### (処理方法)

第3条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

### (条件)

第4条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

### (提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、産業廃棄物管理票(紙マニフェスト)又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

### (その他)

第6条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

# 施工条件明示書（土木工事共通）

## 1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	公共下水道21分区枝線工事		
工事場所	海老名市 河原口六丁目 地内		
工事目的	本工事は、公共下水道汚水施設を整備することにより、地域住民の衛生環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図るために実施するものです。		
工事概要	工事延長 L=72.0m 管渠工 一式 VUφ200 L=70.0m マンホール工 一式 組立1号マンホール 2箇所 付帯工 一式 仮復旧工 仮設工 一式 交通誘導警備員		
契約工期	令和7年6月11日	から	令和7年10月31日 まで
事業区分	<input type="checkbox"/> 補助金事業	<input type="checkbox"/> 国庫	
		<input type="checkbox"/> 県費	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業		
設計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単独積算		
	<input type="checkbox"/> 合算積算		工事 工事

## 2 積算諸条件

- 主たる工種 : 下水道工事（2）  
 施工地域・工事場所区分 : 一般交通影響あり（1）  
 契約保証の方法 : 発注者が金銭的保証を必要とする  
 施工パッケージの使用（一部使用含む） :  有  無  
 週休二日制確保工事該当の有無 :  発注者指定（当初計上）  受注者希望（変更補正）  無

### 【使用歩掛及び単価等】

- |   |         |     |    |
|---|---------|-----|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> 土木工事標準積算基準書 | 適用年版：令和 | 6年  | 7月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 諸経费率        | 適用年版：令和 | 6年  | 7月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 下水道用設計標準歩掛表 | 適用年版：令和 | 6年版 |    |
| <input checked="" type="checkbox"/> 土木工事資材等単価表  | 適用年版：令和 | 7年  | 3月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 刊行物         | 適用年版：令和 | 7年  | 1月 |
| <input type="checkbox"/> 特別調査                   | 適用年版：令和 | 年   | 月  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 海老名市見積単価等   | 適用年版：令和 | 6年  | 4月 |
| <input type="checkbox"/> その他（ ）                 | 適用年版：令和 | 年   | 月  |

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	<input type="checkbox"/> 無 (他工事件名等)	近接箇所での開発行為
			<input checked="" type="checkbox"/> 有 (工期、内容等)	
	2	当工事における施工時期の制約について	<input type="checkbox"/> 無 (制約を受ける施工内容等)	管渠工 要調整
			<input checked="" type="checkbox"/> 有 (施工時期等)	
	3	施工時間について	<input checked="" type="checkbox"/> 昼間施工	(その他特記事項)
			<input type="checkbox"/> 夜間施工 (一部含む)	
4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	<input type="checkbox"/> 無 (関係機関名)	厚木土木事務所東部センター	
		<input checked="" type="checkbox"/> 有		
5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容)	<input type="checkbox"/> 有	
		<input type="checkbox"/> 有		
※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。				
6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	<input type="checkbox"/> 無 (詳細内容、作業不能日数等)	夏季休暇3日	
		<input checked="" type="checkbox"/> 有		
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (用地未取得部分等)	<input type="checkbox"/> 有 (取得予定年月日等)
			<input type="checkbox"/> 有	
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等)	<input type="checkbox"/> 有
		<input type="checkbox"/> 有		
3	使用後の復旧条件	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (復旧内容等)	<input type="checkbox"/> 有	
		<input type="checkbox"/> 有		
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	<input type="checkbox"/> 無 (建設機械と制限内容)	騒音規制法、振動規制法による <input checked="" type="checkbox"/> 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法、振動規制法による
			<input checked="" type="checkbox"/> 有	
2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対策内容)	<input type="checkbox"/> 有	
		<input type="checkbox"/> 有		

【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （指定内容） <input type="checkbox"/> 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	<input type="checkbox"/> 無 （1）交通誘導員の配置 工事施工中3名配置 <input checked="" type="checkbox"/> 有 （2）配置期間 現場実施期間中
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （搬入経路・使用期間等の制限） <input type="checkbox"/> 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （仮設道路に関する安全施設） <input type="checkbox"/> 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （建設発生土の処分先） <input checked="" type="checkbox"/> 有 田代受入地 愛甲郡愛川町田代1951番地 株式会社織戸組 愛川事業所 046-281-1012
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊 <input type="checkbox"/> 建設発生木材 <input type="checkbox"/> 建設発生木材（伐木・除根材） <input checked="" type="checkbox"/> 建設汚泥 <input type="checkbox"/> 建設混合廃棄物 <input type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> その他（ ） ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない			
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> 電柱 <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ガス管 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 架空電線 <input type="checkbox"/> 標識・看板 <input type="checkbox"/> その他（ ）

【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容) 工法区分： 使用材料： <input type="checkbox"/> 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：
【9】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (品名、数量等) <input type="checkbox"/> 有
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (品名、数量等) <input type="checkbox"/> 有
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (品名、数量、搬入制限等) <input type="checkbox"/> 有
	4	発生売却品評価額(スクラップ等)を計上している場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (品名等) <input type="checkbox"/> 有
	5	舗装復旧の方法及び範囲については、道路管理者指示により変更の可能性があります。	
	6	今回の施工区間に近接した箇所で開発行為が計画されているため、施工時期の調整が必要となる可能性があります。	

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

令和 7 年 度

公 共 下 水 道 2 1 分 枝 線 工 事 設 計 書

番 号	TI-データR7.1 費率R7.1単3	施 工 年 度	令和7年度
名 称	公共下水道21分枝線工事		
場 所	海老名市 河原口六丁目 地内		
施 工 主	海老名市	概要 概要 工事延長L=72.0m  管きょ工 1式 塩ビ管φ200 L=70.0m  マンホール工 1式 組立1号マンホール：2箇所  付帯工 1式 仮復旧  仮設工 1式 交通誘導警備員	
設 計 区 分			
路 線 名			
期 間	令和7年6月11日～令和7年10月31日		
日 数	143日		
部 課 名	まちづくり部 下水道課		
積 算 担 当	管路施設係		
合 計 額			
価 格			
消費税相当額			

# 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
費	下水道工事(2)							場所区分:一般交通影響有り(1)
		管きょ工		式	1			A- 1号内訳書
		マンホール工		式	1			A- 2号内訳書
		付帯工		式	1			A- 3号内訳書
		仮設工		式	1			A- 4号内訳書
	直接工事費計							
		運搬費		式	1			A- 5号内訳書
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする



# 間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	下水道工事(2)	工事日数	143日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り(1)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

## 算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共通仮設費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現場管理費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

# 間 接 費 明 細 書

算 出 基 礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{前払補正} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$























B- 7号		仮復旧工					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	146				施工P-01	
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	アスファルト舗装版	m <sup>3</sup>	0.168					
舗装版切断濁水運搬費	ダンプトラック2t積級	回	1					
舗装版破砕	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要 舗装版厚:15cm以下	m <sup>2</sup>	79				施工P-02	
殻運搬	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間 の有無:有り 運搬距離:6.5km以下	m <sup>3</sup>	3				施工P-03	
廃材処理料(北部地区)	A S 殻	m <sup>3</sup>	3					
表層(歩道部)一般部	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満) 瀝青材料種類:無し	m <sup>2</sup>	50				施工P-04	
下層路盤(歩道部)一般部	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工	m <sup>2</sup>	50				施工P-05	
フィルター層 一般+乗入	平均厚さ:100mm以上120mm未満	m <sup>2</sup>	79				施工P-06	
表層(歩道部)乗入部	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満)	m <sup>2</sup>	28				施工P-07	



B- 7号明細書(施工P-01)  
 舗装版切断

積算単位:m

標準単価:  
 t ≤ 15 c m

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			15.42			
K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式/切削深20cm級 フレート径 φ 56cm	供/日	10.49			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			57.13			
R 1	特殊作業員	人	19.60			
R 2	土木一般世話役	人	10.55			
R 3	普通作業員	人	8.73			
R 4						
R 5						
材料 Z			27.45			
Z 1	コンクリートカッタ(フレート)/径18インチ	枚	23.29			
Z 2	ガソリン/レギュラー, スタンド渡し	ℓ	2.83			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{10.49}{100} \times \frac{15.42}{10.49} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{19.60}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{10.55}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{8.73}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} \right) \\
 & + \left( \frac{23.29}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} + \frac{2.83}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} \right) \\
 & \left. + \frac{100-15.42-57.13-27.45}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-02)  
舗装版破碎

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

舗装版種別:アスファルト舗装版、障害等の有無:無し、騒音振動対策:不要、舗装版厚:15cm以下

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			13.49			
K 1	バックホ(クローラ、後超小旋回・超低騒音)賃料/山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	日	13.49			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			80.49			
R 1	土木一般世話役	人	28.91			
R 2	運転手(特殊)	人	27.69			
R 3	普通作業員	人	23.89			
R 4						
R 5						
材料Z			6.02			
Z 1	軽油/パトロール給油	ℓ	6.02			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{13.49}{100} \times \frac{13.49}{13.49} \right) \times \frac{13.49}{13.49} \right. \\
 & + \left( \frac{28.91}{100} \times \frac{28.91}{28.91} + \frac{27.69}{100} \times \frac{27.69}{27.69} + \frac{23.89}{100} \times \frac{23.89}{23.89} \right) \times \frac{80.49}{28.91+27.69+23.89} \\
 & + \left( \frac{6.02}{100} \times \frac{6.02}{6.02} \right) \times \frac{6.02}{6.02} \\
 & \left. + \frac{100-13.49-80.49-6.02}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-03)  
 殻運搬

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

殻発生作業: 舗装版破碎、積込工法区分: 機械積込(小規模土工)、DID区間

の有無: 有り、運搬距離: 0.5km以下

名	規	格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘	要
機械K				18.57				
K 1	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル	2t積級+良好: タイヤ損耗費及び補修費	供/日	18.57			
K 2								
K 3								
K 4								
K 5								
労務R				72.35				
R 1	運転手(一般)		人	72.35				
R 2								
R 3								
R 4								
R 5								
材料Z				9.08				
Z 1	軽油	／	パトロール給油	ℓ	9.08			
Z 2								
Z 3								
Z 4								
Z 5								
市場S								

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{18.57}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{18.57}{18.57} \right. \\
 & + \left( \frac{72.35}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{72.35}{72.35} \\
 & + \left( \frac{9.08}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{9.08}{9.08} \\
 & \left. + \frac{100-18.57-72.35-9.08}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-04)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 30mm

表層(歩道部)一般部  
平均幅員: 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚: 実数入力  
材料: 各種(2.30以上2.40t/m<sup>3</sup>未満)、瀝青材料種類: 無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械	K		0.46			
	K 1	振動ローラ(舗装用) ハンドガト式 / 運転質量0.5~0.6t	供/日	0.34		
	K 2	振動コンパクタ 前進型 / 機械質量40~60kg	供/日	0.09		
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		48.95			
	R 1	特殊作業員	人	21.13		
	R 2	普通作業員	人	18.91		
	R 3	土木一般世話役	人	5.71		
	R 4					
	R 5					
材料	Z		50.59			
	Z 1	再生アスファルト混合物(小型車) / 再生粗粒度アスコン(20)	t	50.42		
	Z 2	カソリン / レキキュラー, スタンド渡し	ℓ	0.11		
	Z 3	軽油 / ハンドロール給油	ℓ	0.05		
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.34}{100} \times \frac{0.46}{0.34+0.09} + \frac{0.09}{100} \times \frac{0.46}{0.34+0.09} \right) \times \frac{0.46}{0.34+0.09} \right. \\
 & + \left( \frac{21.13}{100} \times \frac{48.95}{21.13+18.91+5.71} + \frac{18.91}{100} \times \frac{48.95}{21.13+18.91+5.71} + \frac{5.71}{100} \times \frac{48.95}{21.13+18.91+5.71} \right) \times \frac{48.95}{21.13+18.91+5.71} \\
 & + \left( \frac{50.42}{100} \times \frac{50.59}{50.42+0.11+0.05} + \frac{0.11}{100} \times \frac{50.59}{50.42+0.11+0.05} + \frac{0.05}{100} \times \frac{50.59}{50.42+0.11+0.05} \right) \times \frac{50.59}{50.42+0.11+0.05} \\
 & \left. + \frac{100-0.46-48.95-50.59}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-05)

下層路盤(歩道部)一般部

全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

入力数量: 110mm

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.62			
K 1	小型バックホウ(クローラ、標準)賃料/山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )(排出ガス対策型含む)	日	2.91			
K 2	振動ロー(舗装用、搭乗・コンバインド式)賃料/質量3~4t(排出ガス対策型含む)	日	2.55			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			72.88			
R 1	普通作業員	人	30.50			
R 2	運転手(特殊)	人	26.32			
R 3	特殊作業員	人	13.94			
R 4						
R 5						
材料 Z			21.50			
Z 1	再生クラッシュラン/RC-40	m <sup>3</sup>	19.41			
Z 2	軽油/パトロール給油	ℓ	2.03			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{2.91}{100} \times \frac{5.62}{2.91+2.55} + \frac{2.55}{100} \times \frac{5.62}{2.91+2.55} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{30.50}{100} \times \frac{72.88}{30.50+26.32+13.94} + \frac{26.32}{100} \times \frac{72.88}{30.50+26.32+13.94} + \frac{13.94}{100} \times \frac{72.88}{30.50+26.32+13.94} \right) \\
 & + \left( \frac{19.41}{100} \times \frac{21.50}{19.41+2.03} + \frac{2.03}{100} \times \frac{21.50}{19.41+2.03} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.62-72.88-21.50}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-06)

フィルター層 一般+乗入

平均厚さ:100mm以上120mm未満

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			4.32			
K 1	バックホウ(クローラ、後方超小旋回型) 賃料/山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) (排出ガス対策型含む)	日	2.67			
K 2	振動ローラ(舗装用、搭乗・コンバインド式) 賃料/質量 3~4 t (排出ガス対策型含む)	日	1.53			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			74.20			
R 1	特殊作業員	人	21.10			
R 2	運転手(特殊)	人	20.73			
R 3	普通作業員	人	18.83			
R 4	土木一般世話役	人	11.38			
R 5						
材料Z			21.48			
Z 1	再生砂/RC-10	m <sup>3</sup>	19.37			
Z 2	軽油/ハトロール給油	ℓ	2.05			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{2.67}{100} \times \frac{4.32}{2.67+1.53} + \frac{1.53}{100} \times \frac{4.32}{2.67+1.53} \right) \times \frac{4.32}{2.67+1.53} \right. \\
 & + \left( \frac{21.10}{100} \times \frac{74.20}{21.10+20.73+18.83+11.38} + \frac{20.73}{100} \times \frac{74.20}{21.10+20.73+18.83+11.38} \right. \\
 & + \left. \left. \left( \frac{18.83}{100} \times \frac{74.20}{21.10+20.73+18.83+11.38} + \frac{11.38}{100} \times \frac{74.20}{21.10+20.73+18.83+11.38} \right) \right. \right. \\
 & \left. \left. + \left( \frac{19.37}{100} \times \frac{21.48}{19.37+2.05} + \frac{2.05}{100} \times \frac{21.48}{19.37+2.05} \right) \times \frac{21.48}{19.37+2.05} \right. \right. \\
 & \left. \left. + \frac{100-4.32-74.20-21.48}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-07)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 40mm

表層(歩道部) 乗入部  
平均幅員: 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚: 実数入力  
材料: 各種(2.30以上2.40t/m<sup>3</sup>未満)、瀝青材料種類: 無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K		0.46			
K 1	振動ローラ(舗装用) ハンドガト式 / 運転質量0.5~0.6t	供/日	0.34			
K 2	振動コンパクタ 前進型 / 機械質量40~60kg	供/日	0.09			
K 3						
K 4						
K 5						
労務	R		48.95			
R 1	特殊作業員	人	21.13			
R 2	普通作業員	人	18.91			
R 3	土木一般世話役	人	5.71			
R 4						
R 5						
材料	Z		50.59			
Z 1	再生アスファルト混合物 (小型車) / 再生粗粒度アスコン(20)	t	50.42			
Z 2	カソリン / レキキュラー, スタンド渡し	ℓ	0.11			
Z 3	軽油 / ハンドロール給油	ℓ	0.05			
Z 4						
Z 5						
市場	S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.34}{100} \times \frac{0.46}{0.34+0.09} + \frac{0.09}{100} \times \frac{0.46}{0.34+0.09} \right) \times \frac{0.46}{0.34+0.09} \right. \\
 & + \left( \frac{21.13}{100} \times \frac{48.95}{21.13+18.91+5.71} + \frac{18.91}{100} \times \frac{48.95}{21.13+18.91+5.71} + \frac{5.71}{100} \times \frac{48.95}{21.13+18.91+5.71} \right) \times \frac{48.95}{21.13+18.91+5.71} \\
 & + \left( \frac{50.42}{100} \times \frac{50.59}{50.42+0.11+0.05} + \frac{0.11}{100} \times \frac{50.59}{50.42+0.11+0.05} + \frac{0.05}{100} \times \frac{50.59}{50.42+0.11+0.05} \right) \times \frac{50.59}{50.42+0.11+0.05} \\
 & \left. + \frac{100-0.46-48.95-50.59}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 7号明細書(施工P-08)

下層路盤(歩道部)乗入部

全仕上り厚:実数入力、施工区分:2層施工

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

入力数量: 210mm

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K			5.36			
K 1	小型バックホウ(クローラ、標準)賃料/山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )(排出ガス対策型含む)	日	2.78			
K 2	振動ロー(舗装用、搭乗・コンバインド式)賃料/質量 3~4 t (排出ガス対策型含む)	日	2.43			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			69.51			
R 1	普通作業員	人	29.09			
R 2	運転手(特殊)	人	25.10			
R 3	特殊作業員	人	13.30			
R 4						
R 5						
材料 Z			25.13			
Z 1	再生クラッシャーラン/RC-40	m <sup>3</sup>	23.14			
Z 2	軽油/パトロール給油	ℓ	1.94			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{2.78}{100} \times \frac{5.36}{2.78+2.43} + \frac{2.43}{100} \times \frac{5.36}{2.78+2.43} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{29.09}{100} \times \frac{69.51}{29.09+25.10+13.30} + \frac{25.10}{100} \times \frac{69.51}{29.09+25.10+13.30} + \frac{13.30}{100} \times \frac{69.51}{29.09+25.10+13.30} \right) \\
 & + \left( \frac{23.14}{100} \times \frac{25.13}{23.14+1.94} + \frac{1.94}{100} \times \frac{25.13}{23.14+1.94} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.36-69.51-25.13}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 8号 車止め復旧工 10本当たり 明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
車止めポスト設置		本	10			施工P-01
車止めポスト設置	撤去（設置/2）	本	10			
コンクリート	構造物種別：小型構造物 打設工法：人力打設 コンクリート規格：24-12-25(20)（高炉）	m <sup>3</sup>	0.64			施工P-02
	養生工の種類：一般養生 現場内小運搬の有無：無し					
基礎砕石	砕石の厚さ：7.5cmを超え12.5cm以下	m <sup>2</sup>	1.6			施工P-03
構造物とりこわし工(人力施工) 昼間	無筋構造物 制約無	m <sup>3</sup>	0.64			C- 13号単価表
廃材処理料(北部地区)	無筋C o 殻	m <sup>3</sup>	0.64			
殻運搬, Co(無筋・鉄筋)構造物取壊し	人力積込、DIDあり、2tDT、4.5km以下	m <sup>3</sup>	0.64			
計						
1本当たり						

B- 8号明細書(施工P-01)  
車止めポスト設置

積算単位:本

標準単価:

名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K					
K 1					
K 2					
K 3					
K 4					
K 5					
労務 R		16.80			
R 1 普通作業員	人	16.00			
R 2					
R 3					
R 4					
R 5					
材料 Z		83.20			
Z 1 車止めポストヒラ型 取外し式 / 径114.3mm 高さ850mm スチール	本	83.20			
Z 2					
Z 3					
Z 4					
Z 5					
市場 S					

$$\begin{aligned}
 P' = & \\
 & \times \left\{ \right. \\
 & + \left( \frac{16.00}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{16.80}{16.00} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{83.20}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{83.20}{83.20} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-16.80-83.20}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 8号明細書(施工P-02)  
 コンクリート

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

構造物種別: 小型構造物、打設工法: 人力打設、コンクリート規格: 24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類: 一般養生、現場内小運搬の有無: 無し

名	称	規	格	単位	構成比	単価(東京)	単	価	摘	要
機械	K									
	K 1									
	K 2									
	K 3									
	K 4									
	K 5									
労務	R				42.01					
	R 1	普通作業員		人	22.75					
	R 2	土木一般世話役		人	9.31					
	R 3	特殊作業員		人	7.89					
	R 4									
	R 5									
材料	Z				57.99					
	Z 1	生コンクリート(高炉セメント) / 18-8-25(20), W/C指定無し(小型4t車)		m <sup>3</sup>	57.99					
	Z 2									
	Z 3									
	Z 4									
	Z 5									
市場	S									

P' =

× {

$$+ \left( \frac{22.75}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{9.31}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{7.89}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} \right) \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89}$$

$$+ \left( \frac{57.99}{100} \times \frac{57.99}{57.99} \right) \times \frac{57.99}{57.99}$$

$$+ \frac{100-42.01-57.99}{100} \} =$$

B- 8号明細書(施工P-03)

基礎砕石

砕石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.58			
K 1	バックホ(クローラ、標準)賃料/山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )(排出ガス対策型含む)	日	5.55			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			77.45			
R 1	普通作業員	人	37.13			
R 2	特殊作業員	人	15.71			
R 3	運転手(特殊)	人	14.81			
R 4	土木一般世話役	人	9.27			
R 5						
材料 Z			16.97			
Z 1	再生クラッシャーラン/RC-40	m <sup>3</sup>	11.93			
Z 2	軽油/バートル給油	ℓ	5.01			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{5.55}{100} \times \frac{5.58}{5.55} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{37.13}{100} \times \frac{77.45}{37.13+15.71+14.81+9.27} + \frac{15.71}{100} \times \frac{77.45}{37.13+15.71+14.81+9.27} + \frac{14.81}{100} \times \frac{77.45}{37.13+15.71+14.81+9.27} + \frac{9.27}{100} \times \frac{77.45}{37.13+15.71+14.81+9.27} \right) \\
 & + \left( \frac{11.93}{100} \times \frac{16.97}{11.93+5.01} + \frac{5.01}{100} \times \frac{16.97}{11.93+5.01} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.58-77.45-16.97}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$











































D- 2号単価表(施工P-01)  
タンパ締固め

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.24			
K 1	タンパ 及びランマ賃料 / 質量 60~80kg	日	1.24			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			97.05			
R 1	特殊作業員	人	51.22			
R 2	普通作業員	人	45.83			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			1.71			
Z 1	ガソリン / レギュラー, スタンド渡し	ℓ	1.71			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{1.24}{100} \times \frac{1.24}{1.24} \right) \times \frac{1.24}{1.24} \right. \\
 & + \left( \frac{51.22}{100} \times \frac{51.22}{51.22+45.83} + \frac{45.83}{100} \times \frac{45.83}{51.22+45.83} \right) \times \frac{97.05}{51.22+45.83} \\
 & + \left( \frac{1.71}{100} \times \frac{1.71}{1.71} \right) \times \frac{1.71}{1.71} \\
 & \left. + \frac{100-1.24-97.05-1.71}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$























D- 13号単価表(施工P-01)  
 コンクリート

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

構造物種別: 小型構造物、打設工法: 人力打設、コンクリート規格: 24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類: 一般養生、現場内小運搬の有無: 無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		42.01			
	R 1 普通作業員	人	22.75			
	R 2 土木一般世話役	人	9.31			
	R 3 特殊作業員	人	7.89			
	R 4					
	R 5					
材料	Z		57.99			
	Z 1 生コンクリート(高炉セメント) / 18-8-25(20), W/C指定無し	m <sup>3</sup>	57.99			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left( \frac{22.75}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{9.31}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{7.89}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} \right) \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89}$$

$$+ \left( \frac{57.99}{100} \times \frac{57.99}{57.99} \right) \times \frac{57.99}{57.99}$$

$$+ \frac{100-42.01-57.99}{100} \} =$$



D- 14号単価表(施工P-01)  
 コンクリート

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

構造物種別: 小型構造物、打設工法: 人力打設、コンクリート規格: 24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類: 一般養生、現場内小運搬の有無: 無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		42.01			
	R 1 普通作業員	人	22.75			
	R 2 土木一般世話役	人	9.31			
	R 3 特殊作業員	人	7.89			
	R 4					
	R 5					
材料	Z		57.99			
	Z 1 生コンクリート(高炉セメント) / 18-8-25(20), W/C指定無し	m <sup>3</sup>	57.99			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left( \frac{22.75}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{9.31}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{7.89}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} \right) \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89}$$

$$+ \left( \frac{57.99}{100} \times \frac{57.99}{57.99} \right) \times \frac{57.99}{57.99}$$

$$+ \frac{100-42.01-57.99}{100} \} =$$















公共下水道21分枝線工事

材料費(30)

材料調書全体明細表

(単位:円)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
埋設明示シート	幅400 2倍	巻	1.4			
セメント(高炉B)	25kg袋入	t	0.032			
生コンクリート(高炉セメント)	18-8-25(20), W/C指定無し	m <sup>3</sup>	0.509			
生コンクリート(高炉セメント)	18-8-25(20), W/C指定無し(小型4 t車)	m <sup>3</sup>	0.204			
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	m <sup>3</sup>	0.042			
割栗石	50-150mm	m <sup>3</sup>	0.38			
再生クラッシュラン	RC-40	m <sup>3</sup>	171.74			
再生砂	RC-10	m <sup>3</sup>	63.93			
再生アスファルト混合物(小型車)	再生粗粒度アスコン(20)	t	6.779			
組立式マンホール(1号)	斜壁 600×900×450	個	1			
組立式マンホール(1号)	斜壁 600×900×600	個	1			
組立式マンホール(1号)	直壁 900×300	個	1			
組立式マンホール(1号)	躯体ブロック 900×1500	個	1			

公共下水道21分枝線工事

材料費(30)

材料調書全体明細表

(単位:円)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
組立式マンホール(1号)	躯体ブロック 900×1800	個	1			
組立式マンホール(1号)	底版 有効高130	個	2			
調整リング	600×100	個	3			
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-14, 転落防止梯子付き	組	2			
無収縮モルタル	25kg	袋	2			
受枠変形防止材(3セット1組)		組	2			
可とう継ぎ手(貼り付けタイプ)	塩ビ管用 φ200	個	4			
ガソリン	レギュラー, スタンド渡し	ℓ	44.3			
軽油	パトロール給油	ℓ	949.969			
コンクリートカッタ(プレート)	径18インチ	枚	0.353			
材料費計						



## 数量総括表

工種	種別	細別	規格	数量		摘要		
管きょ工	管路土工	管路掘削	路盤	18	m3	M		
			昼間					
				土砂	180	m3	N	
				昼間				
		管路埋戻		RC-40	131	m3	U	
				昼間				
			路盤材処理・運搬		18	m3	M	
				昼間				
			発生土処理・運搬		180	m3	N	
			昼間					
	管布設工	硬質塩化ビニル管 明示シート含む	φ200	70	m	P		
			昼間					
	管基礎工	砂基礎	RC-10	45	m3	T		
			昼間					
	開削水替工			1	式			
	管路土留工			1	式			
マンホール工	組立1号マンホール工 人孔深 2.19m	組立マンホール設置工 9202-3	昼間	1	箇所			
				海老名市型人孔鉄蓋	T-14	1	組	
				受枠変形防止材		1	組	
				無収縮モルタル	25kg 5kg/cm	2	袋	他含む
				調整リング	H=100	1	個	
				斜壁	H=600	1	個	
				躯体ブロック	H=1500	1	個	
				底板	PB	1	個	
				転落防止梯子		1	個	
				底部工		1	箇所	
				可とう継ぎ手		1	個	
			組立1号マンホール工 人孔深 2.74m	組立マンホール設置工 9202-4	昼間	1	箇所	
				海老名市型人孔鉄蓋	T-14	1	組	
				受枠変形防止材		1	組	
				調整リング	H=100	2	個	
				斜壁	H=450	1	個	
				直壁	H=300	1	個	
			躯体ブロック	H=1800	1	個		
		底板	PB	1	個			
		転落防止梯子		1	個			
		削孔費		1	箇所			
		底部工		1	箇所			

## 数量総括表

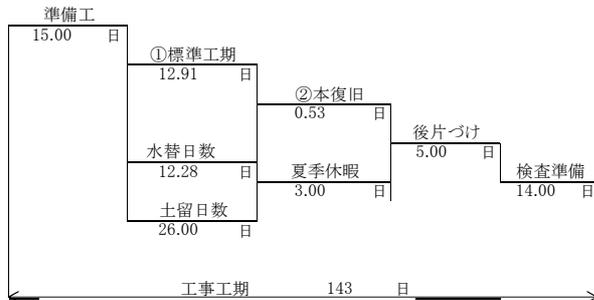
工種	種別	細別	規格	数量		摘要
		可とう継ぎ手		2	個	
	組立1号マンホール工 既存	削孔費		1	箇所	
		底部工		1	箇所	
		可とう継ぎ手		1	個	
付帯工	仮復旧工 昼間	舗装版切断工	As t $\leq$ 15cm	146	m	
		舗装版切断濁水	0.023 $\times$ 0.05 $\times$ 146	0.168	m <sup>3</sup>	
		舗装版切断濁水運搬	2tトラック	1	回	
		舗装版破碎	As t $\leq$ 15cm	79	m <sup>2</sup>	79.20
		運搬処分		3	m <sup>3</sup>	3.47
		表層（一般部）	再生粗粒度AS t=3cm	50	m <sup>2</sup>	50.60
		下層路盤（一般部）	RC-40 t=11cm	50	m <sup>2</sup>	50.60
		フィルター層（一般+乗入）	RC-10 t=10cm	79	m <sup>2</sup>	50.60+28.60
		表層（乗入部）	再生粗粒度AS t=4cm	28	m <sup>2</sup>	28.60
		下層路盤（乗入部）	RC-40 t=21cm	28	m <sup>2</sup>	28.60
		車止め		3	基	撤去再設置
仮設工	交通誘導員			1	式	

施工日数の計算（昼間）

当初

施工条件			施工実日数	
軽量鋼矢板 軽量金属支保	VUφ 200 mm h= 3.0 m 2 段	施工延長 L= 72.00 m 掘削幅 1.10 m		
舗装版切断工	146.00 m	÷ 230 m / 日	0.63 日	① 12.91 日
開削工	72.00 m × 29.00 日	÷ 100 m	20.88 日	
As 舗装工	79.00 m <sup>2</sup>	÷ 620.0 m <sup>2</sup> / 日・層	0.13 日	② 0.53 日
路盤工	79.00 m <sup>2</sup>	÷ 268.0 m <sup>2</sup> / 日・層	0.29 日	
フィルター層	m <sup>2</sup>	÷ 280.0 m <sup>2</sup> / 日・層	日	
舗装版破碎工 (掘削・積み込み作業)	79.00 m <sup>2</sup>	÷ 750.0 m <sup>2</sup> / 日・層	0.11 日	
機械掘削工	m <sup>3</sup>	÷ 59.0 m <sup>3</sup> / 日	日	
区画線			日	
水替え工	20.88 日	÷ 1.7	12.28 日	③ 日
準備日数			15.00 日	④ 日
後片づけ			5.00 日	
夏季休暇			3.00 日	
検査準備			14.00 日	
			日	

工程表



・交通誘導員

昼間 : 14.00 日

- ①交通誘導員A 4.00 日 × 1.0 人 = 4 人 ※県道部施工時
- ②交通誘導員B 4.00 日 × 2.0 人 = 8 人 ※県道部施工時
- ③交通誘導員B 10.00 日 × 3.0 人 = 30 人

※県道部施工時は交通誘導員A1名、交通誘導員B2名を配置

・工事工期

- 準備工 : 15 日
- 標準工期・本復旧 : 23 日
- 後片づけ : 5 日
- 検査準備 : 14 日
- 夏季休暇 : 3 日
- 調整日数 : 83 日

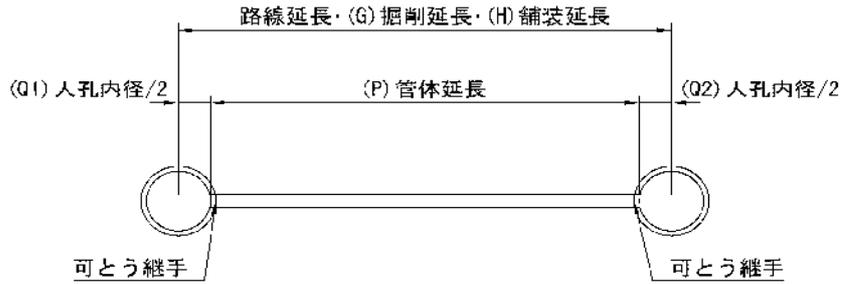
管渠土工計算書 内径 200 mm 硬質塩化ビニル管 (砂基礎) 掘削機種 0.28 m3

路線 番号	人孔番号		掘削深			掘削幅		管 外 径	基 礎 厚	掘削 延長	舗装 種類	掘削十量						管体延長			埋戻十量				仮復旧		残十量			十留工	備 考	
	上 流	下 流	上 流	下 流	平 均 (A+B)/2	種 別	平 均					舗装 延長 G	舗装 取壊 面積 D*G	現 況 舗 装 厚 J	現 況 路 盤 + 現 況 路 床 I*J	As ガラ I*K	機 械 掘 削 (路 盤) I*K	機 械 掘 削 (土 砂) *D*G (C-J-K)	控 除 O	延 長 P	可 撓 継 手 Q	復 旧 舗 装 厚 R	復 旧 路 盤 + 復 旧 路 床 S	RC-10 (砂) 基礎 (0.3+E*F) *D*G 種*P	RC-40 埋戻 (C-0.3-E +F*G) *D*G	カッター 長 H*2	舗装 面積 I	As ガラ L	路盤 + 路床 M	普通 土砂 N		矢 板 長
9202	9202-3	+19.5	2.30	2.75	2.53	アルミ	1.10	0.216	0.10	19.50	都(歩)	19.50	21.45	0.04	0.20	0.86	4.29	49.12	0.45	19.05	1	0.03	0.21	12.21	35.91	39.00	21.45	0.86	4.29	49.12	アルミ-3.0(2)	0.2BH
9202	+19.5	+9.2	2.30	2.75	2.53	アルミ	1.10	0.216	0.10	9.20	都(歩)乗	9.20	10.12	0.05	0.30	0.51	3.04	22.06		9.20		0.04	0.31	5.90	15.83	18.40	10.12	0.51	3.04	22.06	アルミ-3.0(2)	0.2BH
9202	+9.2	+26.5	2.30	2.75	2.53	アルミ	1.10	0.216	0.10	26.50	都(歩)	26.50	29.15	0.04	0.20	1.17	5.83	66.75		26.50		0.03	0.21	16.99	48.80	53.00	29.15	1.17	5.83	66.75	アルミ-3.0(2)	0.2BH
9202	+26.5	9202-4	2.30	2.75	2.53	アルミ	1.10	0.216	0.10	9.80	都(歩)乗	9.80	10.78	0.05	0.30	0.54	3.23	23.50	0.45	9.35	1	0.04	0.31	5.99	16.86	19.60	10.78	0.54	3.23	23.50	アルミ-3.0(2)	0.2BH
9202	9202-4	+7.0	2.81	2.83	2.82	アルミ	1.10	0.216	0.10	7.00	都(歩)乗	7.00	7.70	0.05	0.30	0.39	2.31	19.02	0.90	6.10	2	0.04	0.31	3.91	14.28	14.00	7.70	0.39	2.31	19.02	アルミ-3.5(2)	0.2BH
計										72.00		72.00	79.20		3.47	18.70	180.45		70.20	4			45.00	131.68	144.00	79.20	3.47	18.70	180.45			

舗装別数量	延長	舗装取壊(m2)	舗装取壊(m3)	Cutter延長(m)	仮復旧(m2)	十留長	延長
1号							
2号(歩)						アルミ-2.0(1)	
2号(歩)乗						アルミ-2.5(1)	
3号						アルミ-2.5(2)	
6号						アルミ-3.0(2)	65.00
市道①						アルミ-3.5(2)	7.00
市道②						アルミ-4.0(2)	
市道③						アルミ-4.0(3)	
都①							
都②							
都③							
都(歩)	46.00	50.60	2.03	92.00	50.60		
都(歩)乗	26.00	28.60	1.44	52.00	28.60		
計	72.00	79.20	3.47	144.00	79.20		72.00

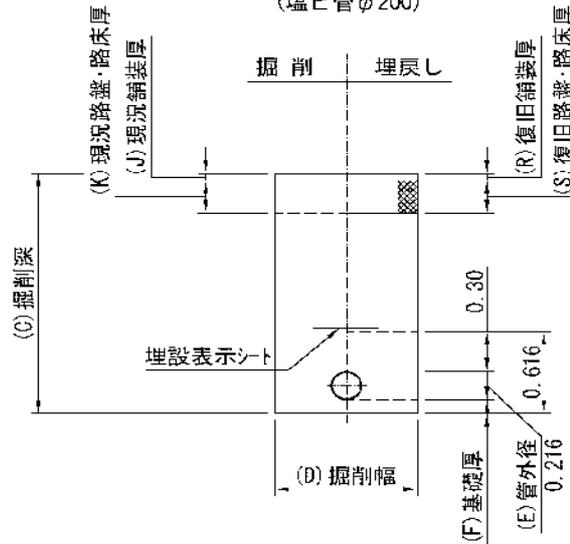
# 管渠土工概略図

平面図



掘削断面図

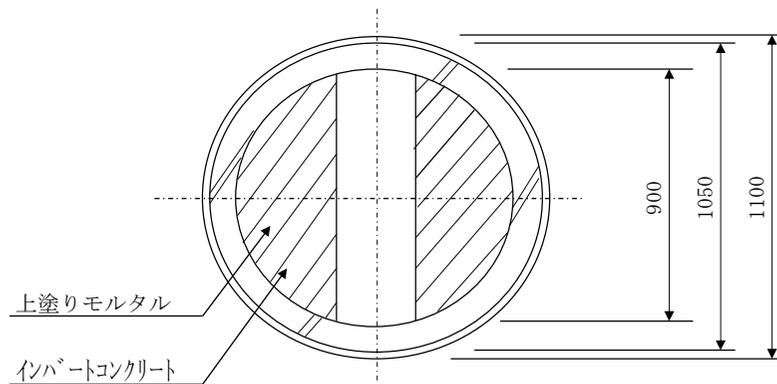
(塩ビ管φ200)



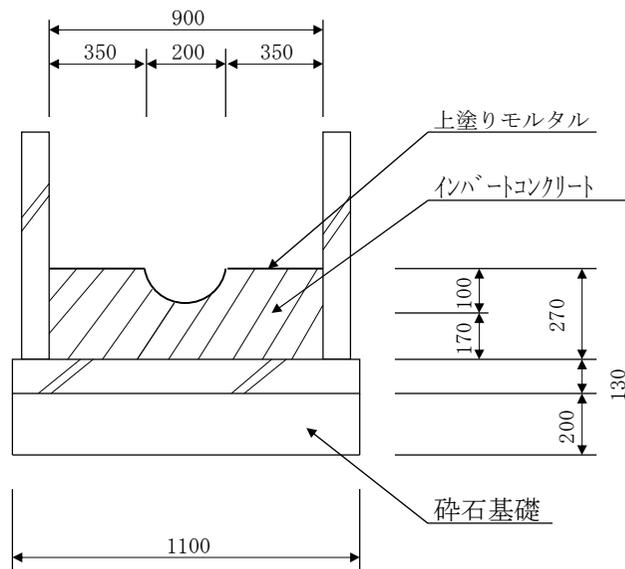
- ・舗装取壊面積  $I = \text{掘削幅}(D) \times \text{掘削延長}(G)$
- ・Asガラ  $L = \text{舗装面積}(I) \times \text{現況舗装厚}(J)$
- ・機械掘削(路盤・路床)  $S = \text{舗装面積}(I) \times \text{現況路盤・路床厚}(K)$
- ・機械掘削(土砂)  $N = (\text{平均掘削深}(C) - \text{現況舗装厚}(J) - \text{現況路盤・路床厚}(K)) \times \text{平均掘削幅}(D) \times \text{掘削延長}(G)$
- ・埋戻土量(RC-10)  $T = (\text{基礎高}0.616 \times \text{平均掘削幅}(D) - \text{管体積}0.216^2 \times \pi/4) \times \text{管体延長}(P)$
- ・埋戻土量(RC-40)  $U = (\text{平均掘削深}(C) - 0.300 - \text{管外径}(E) - \text{基礎厚}(F) - \text{復旧舗装厚}(R) - \text{復旧路盤・路床厚}(S)) \times \text{平均掘削幅}(D) \times \text{掘削延長}(G)$
- ・カッター長  $Y = \text{舗装延長}(H) \times 2$
- ・復旧舗装面積  $W = \text{舗装取壊面積}(I)$
- ・残土(Asガラ)  $X = \text{Asガラ}(L)$
- ・残土(路盤・路床)  $X = \text{機械掘削(路盤・路床)}(M)$
- ・残土(土砂)  $Y = \text{機械掘削(土砂)}(N)$



平面図



断面図



1号人孔底部工標準数量計算書

管径 200 mm

砕石基礎 (t=20cm)

$$1.10^2 \times \pi / 4 = 0.95 \text{ m}^2$$

インバートコンクリート

$$0.90^2 \times \pi / 4 \times 0.27 - 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 0.90 = 0.16 \text{ m}^3$$

モルタル上塗り工

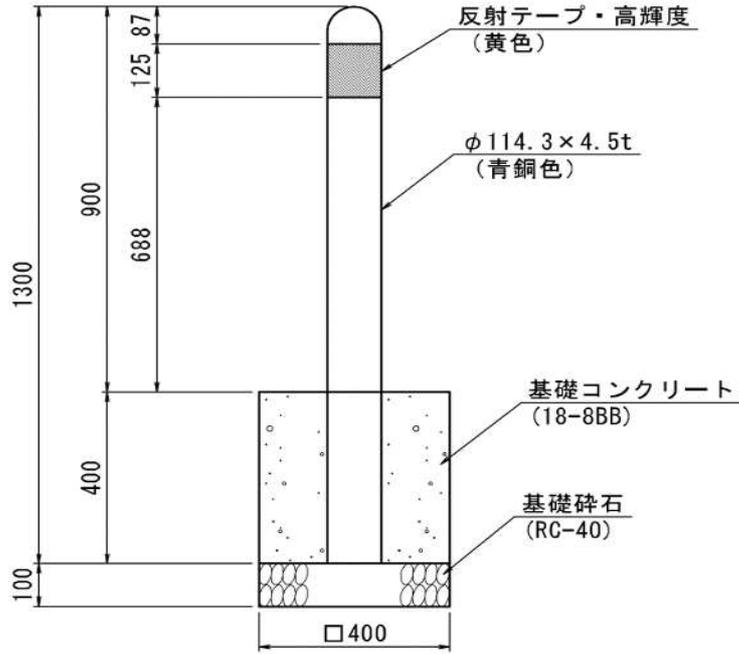
$$0.90^2 \times \pi / 4 - 0.20 \times 0.90 + 0.20 \times \pi / 2 \times 0.90 = 0.74 \text{ m}^2$$

仮復旧工数量計算書(歩道)

細 別	計 算 式	数 量
仮復旧工		
1. 舗装版切断工 t=15cm以下	As舗装版 L= 144.40 + 1.10 + 1.10 = 146.60	146.6 m
2. 舗装版破碎工 t=4cm  t=5cm	As舗装版 A= 21.45 + 29.15 = 50.60  A= 10.12 + 10.78 + 7.70 = 28.60	50.6 m <sup>2</sup>  28.6 m <sup>2</sup>
3. ガラ処分工	As殻(歩道) 一般部 V= = 2.03  出入口 V= = 1.44  計 3.47	3.5 m <sup>3</sup>
4. 仮復旧工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表層(再生粗As) t=3cm A= 50.60 = 50.60</li> <li>・表層(再生粗As) t=4cm ※乗入部 A= 28.60 = 28.60</li> <li>・下層路盤(RC-40) t=11cm A= 50.60 = 50.60</li> <li>・下層路盤(RC-40) t=21cm ※乗入部 A= 28.60 = 28.60</li> <li>・フィルター層(RC-10) t=10cm A= 79.20 = 79.20</li> </ul>	50.6 m <sup>2</sup> 28.6 m <sup>2</sup> 50.6 m <sup>2</sup> 28.6 m <sup>2</sup> 79.2 m <sup>2</sup>
付帯工 車止め	N= = 3.00	3.0 基

単 位 数 量 調 書

車止めポスト



10本あたり

名 称	規格・仕様	算 定 式	単 位	数 量
車止めポスト	φ114.3×t4.5	(撤去再設置)	本	10
砕石基礎	RC-40	A = 0.40×0.40×10	m <sup>2</sup>	1.60
コンクリート (小型構造物)	18N/mm	V = 0.40×0.40×0.40×10	m <sup>3</sup>	0.64

# アルミ矢板損料計算書

当初

矢板長 <span style="float: right;">L = 3.00 m</span>	矢板長 <span style="float: right;">L = 3.50 m</span>
総締切延長 <span style="float: right;">L = 65.00 m</span>	総締切延長 <span style="float: right;">L = 7.00 m</span>
1 回当たり締切延長 <span style="float: right;">L = 6.00 m</span>	1 回当たり締切延長 <span style="float: right;">L = 6.00 m</span>
現場搬入出を含めた供用日数	現場搬入出を含めた供用日数
総締切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数	総締切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数
$65.00 \text{ m} \times 29 \text{ 日} / 100\text{m} + 2 \text{ 日} = 21.0 \text{ 日}$	$7.00 \text{ m} \times 29 \text{ 日} / 100\text{m} + 2 \text{ 日} = 5.0 \text{ 日}$
1 現場当たりの使用総重量	1 現場当たりの使用総重量
0.0151 t/m × 同一材料 1 回使用総延長	0.0177 t/m × 同一材料 1 回使用総延長
0.0151 t/枚 × 6.00 m / 0.333 m/枚 × 2 側	0.0177 t/枚 × 6.00 m / 0.333 m/枚 × 2 側
= 0.544 t	= 0.637 t
1 現場における転用回数	1 現場における転用回数
総締切延長 ÷ 1 回当たりの締切延長	総締切延長 ÷ 1 回当たりの締切延長
$65.00 \text{ m} \div 6.00 \text{ m} = 10.8 \text{ 回}$	$7.00 \text{ m} \div 6.00 \text{ m} = 1.2 \text{ 回}$
賃料日数	賃料日数
$6.00 \text{ m} \div 0.333 \text{ m} \times 2 \text{ 枚} \times 21.0 \text{ 日} = 757 \text{ 枚} \cdot \text{日}$	$6.00 \text{ m} \div 0.333 \text{ m} \times 2 \text{ 枚} \times 5.0 \text{ 日} = 181 \text{ 枚} \cdot \text{日}$

土留材賃貸料金・重量計算書 (アルミ矢板3.0m)

矢板長	L =	3.00	m				
総締切延長	L =	12.0	m	(= 6.0 m × 2.0 面	=	12 m)	
アルミ矢板使用枚数	N ÷	36.0	枚	(= 12.0 ÷ 0.333	=	36.0)	
供用日数	N =	21.0	日				
1 現場当たりの使用総重量 (t)							
矢板1枚当たりの重量(t) (L=3.0m)	×	矢板使用枚数(枚)					
0.0151	×	36.0	=	0.544	t		
① アルミ矢板賃貸料 (円)							
矢板1枚当たりの賃貸料(円)	×	矢板使用枚数(枚)	×	供用日数 (28.0)		積算資料 円	建設物価 円
	×	36.0	×	21.0	=	円	平均 円
※建設物価・積算資料の平均価格							
② アルミ矢板基本料 (円)							
矢板1枚当たりの基本料(円)	×	矢板使用枚数(枚)				積算資料 円	建設物価 円
	×	36.0	=	円		平均 円	円
※建設物価・積算資料の平均価格							
③ アルミ矢板整備費 (円)							
矢板1枚当たりの基本料(円)	×	矢板使用枚数(枚)				見積 円	
	×	36.0	=	円			
※建設物価・積算資料の平均価格							
④ 合計 (円)							
アルミ矢板賃貸料 (円)	+	アルミ矢板基本料 (円)	+	アルミ矢板整備費 (円)			
	+		=	円			

土留材賃貸料金・重量計算書 (アルミ矢板3.5m)

矢板長	L =	3.50	m				
総締切延長	L =	12.0	m	(= 6.0 m × 2.0 面	=	12 m)	
アルミ矢板使用枚数	N ÷	36.0	枚	(= 12.0 ÷ 0.333	=	36.0)	
供用日数	N =	5.0	日				
1 現場当たりの使用総重量 (t)							
矢板1枚当たりの重量(t) (L=3.0m)	×	矢板使用枚数(枚)					
0.0177	×	36.0	=	0.637	t		
① アルミ矢板賃貸料 (円)							
矢板1枚当たりの賃貸料(円)	×	矢板使用枚数(枚)	×	供用日数		積算資料 円	建設物価 円 平均 円
	×	36.0	×	5.0	=	円	
※建設物価・積算資料の平均価格							
② アルミ矢板基本料 (円)							
矢板1枚当たりの基本料(円)	×	矢板使用枚数(枚)				積算資料 円	建設物価 円 平均 円
	×	36.0	=	円			
※建設物価・積算資料の平均価格							
③ アルミ矢板整備費 (円)							
矢板1枚当たりの基本料(円)	×	矢板使用枚数(枚)				見積 円	
	×	36.0	=	円			
※建設物価・積算資料の平均価格							
③ 合計 (円)							
アルミ矢板賃貸料 (円)	+	アルミ矢板基本料 (円)	+	アルミ矢板整備費 (円)			
	+		+		=	円	

## 仮設材運搬重量集計表

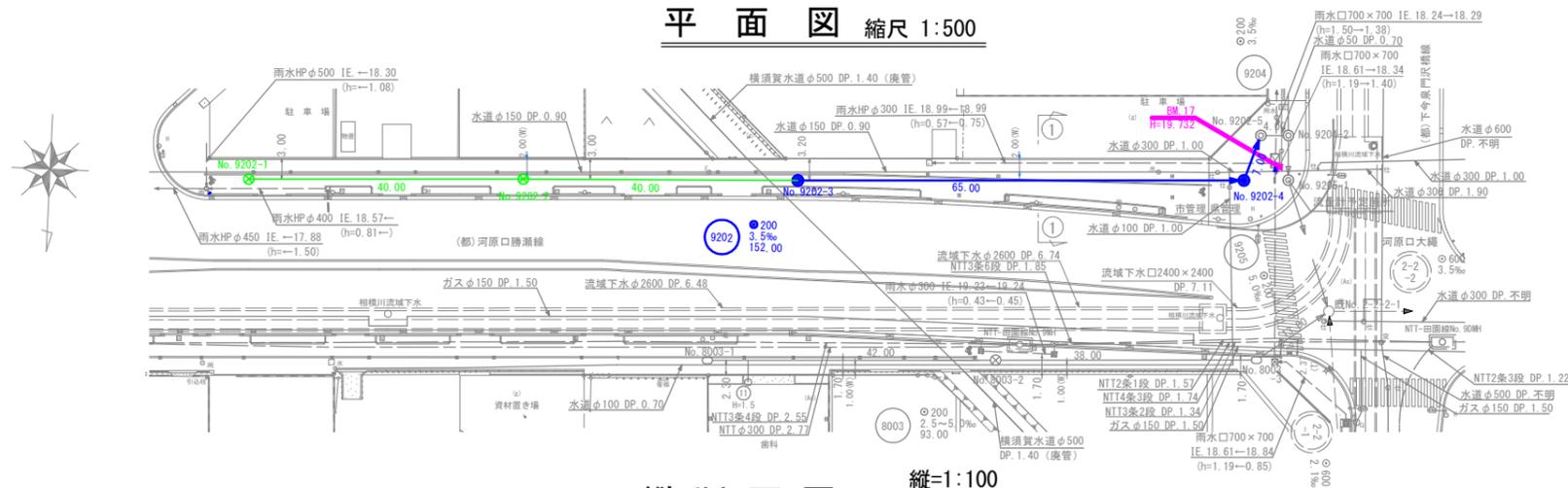
当初

種 別	矢板長	建込状況	計 算 式	単 位	数 量	備 考
アルミ矢板 ( 搬入搬出時 )	L = 2.00 m	%		t		
	L = 2.50 m	100 %		t		
	L = 3.00 m	100 %		t	0.544	
	L = 3.50 m	100 %		t	0.637	
	L = 4.00 m	%		t		
				計	1.181	
				合計	1.181	
運搬使用車両				トラック	2 t	1 台

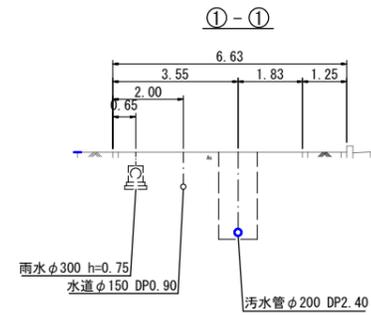
海 老 名 市



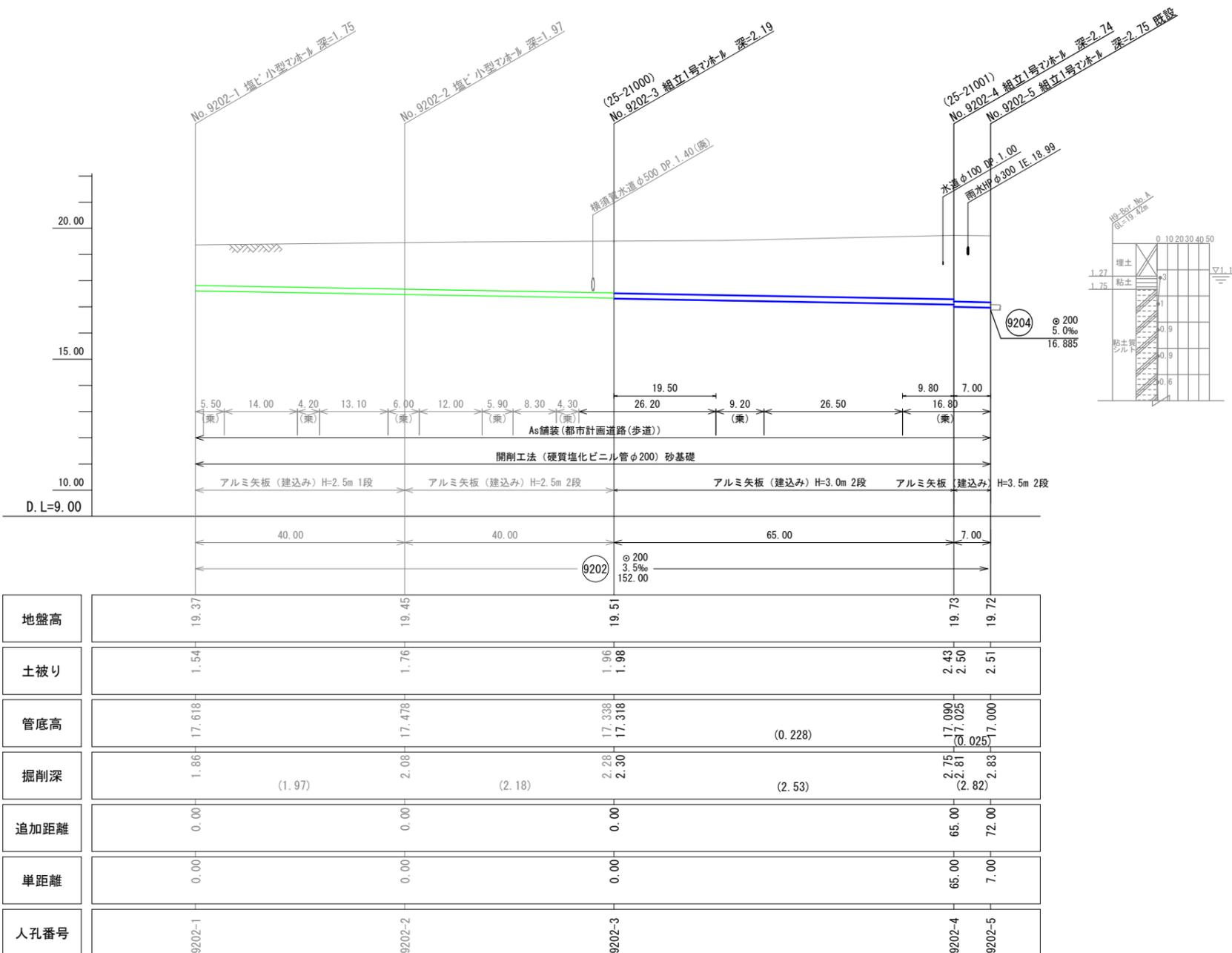
平面図 縮尺 1:500



横断面図 縮尺 1:100

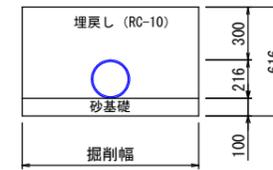


縦断面図 縮尺 縦=1:100 横=1:500

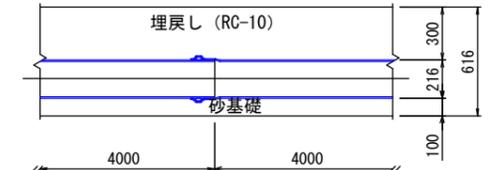


硬質塩化ビニル管基礎標準図

断面図

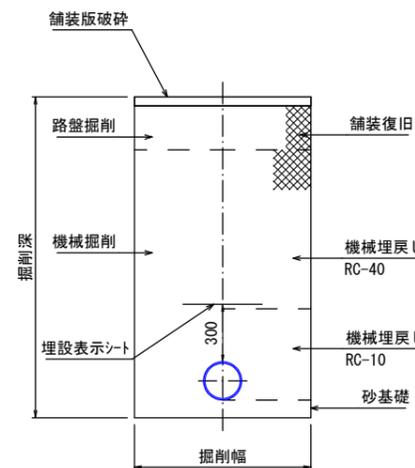


縦断面図



土工標準図

本管  
(塩ビ管φ200)  
掘削 埋戻し



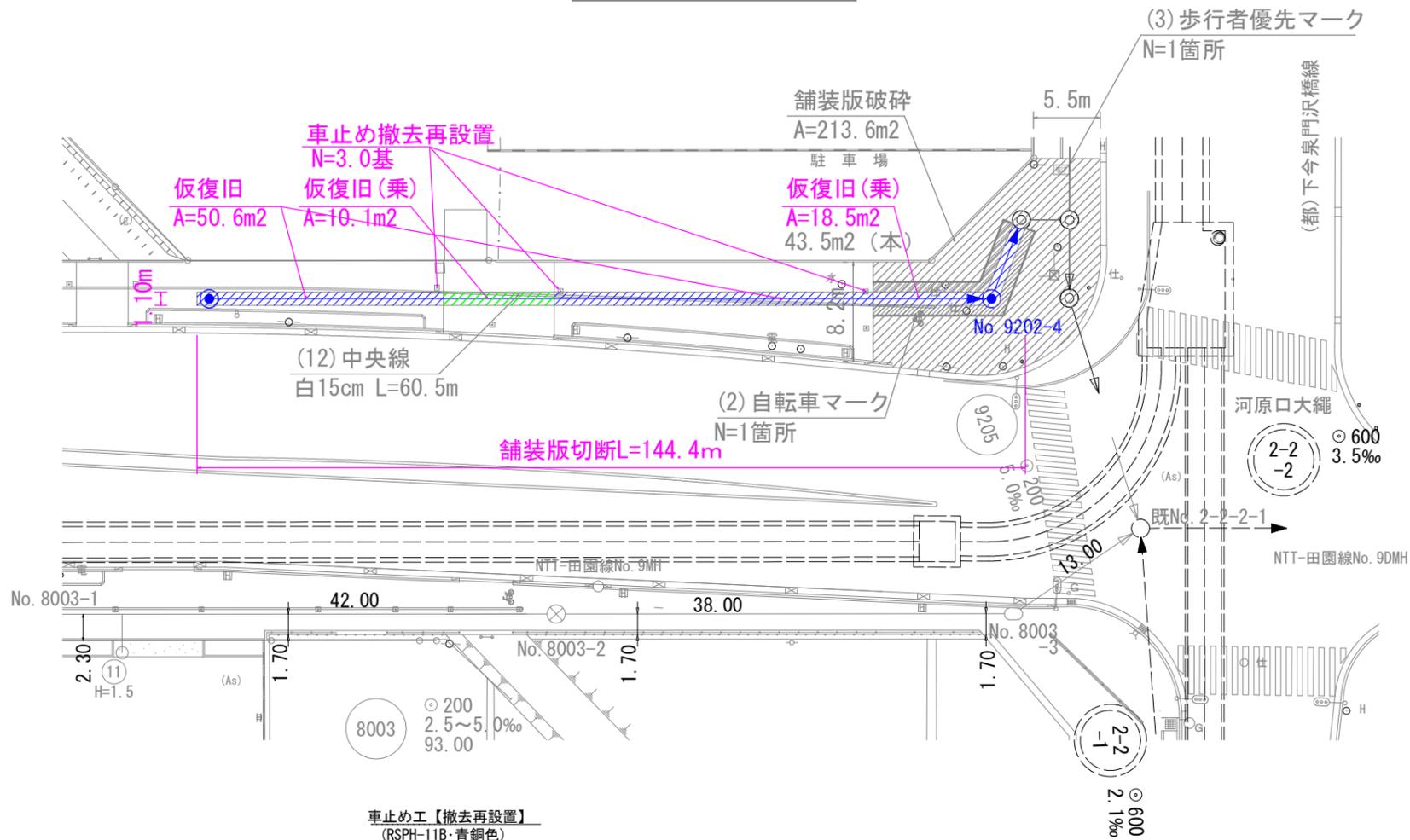
位置図 縮尺 FREE



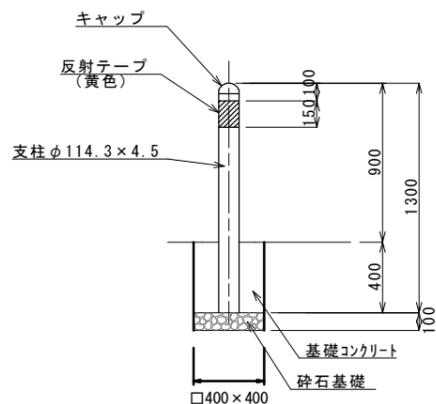
路線番号	9202
------	------

工事名	令和7年度 公共下水道21分区枝線工事
処理区名	公共下水道21分区
工事場所	海老名市 河原口六丁目 地内
図面名	平面図・縦断面図・横断面図 図示
図面番号	全4葉の内 第1号
神奈川県海老名市役所	

復旧範囲図 縮尺 1:250



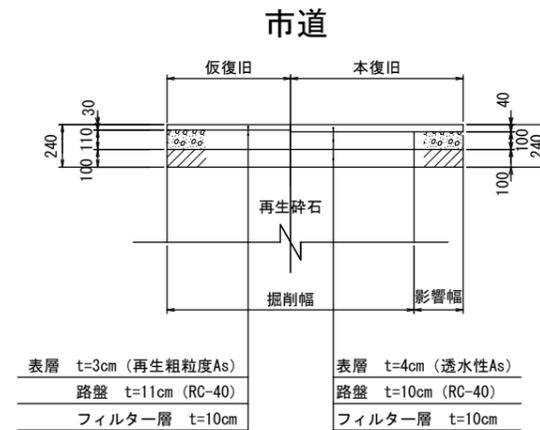
車止め工【撤去再設置】  
 (RSPH-11B・青銅色)



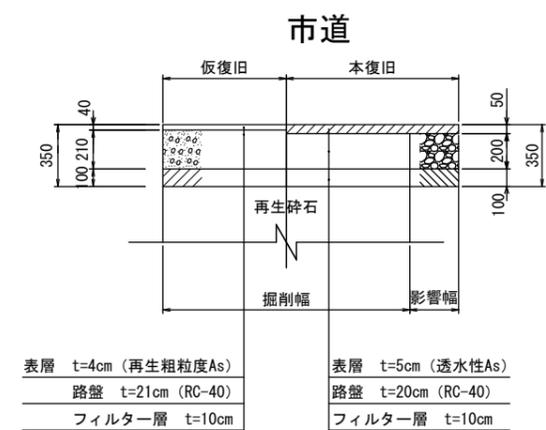
数量計算 (10.0本当り)

名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
車止め	φ114.3×1.300	本	10.0	
基礎コンクリート	18-8BB	m <sup>3</sup>	0.64	t=400mm
砕石基礎	RC-40	m <sup>2</sup>	1.60	t=100mm
型枠		m <sup>2</sup>	6.40	

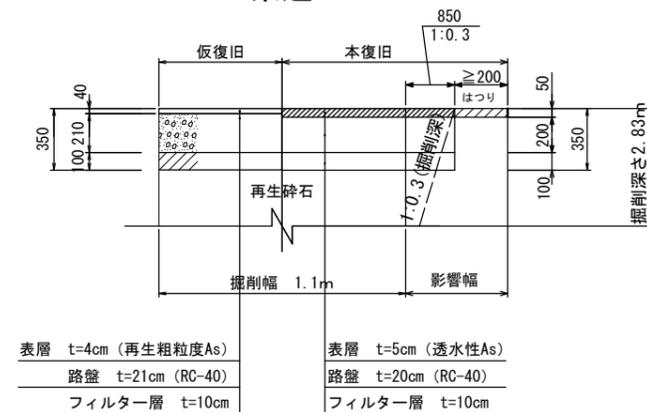
都市計画道路(歩道)



都市計画道路(歩道)  
 (乗入部)



都市計画道路(歩道)  
 (乗入部)  
 県道



位置図 縮尺 FREE



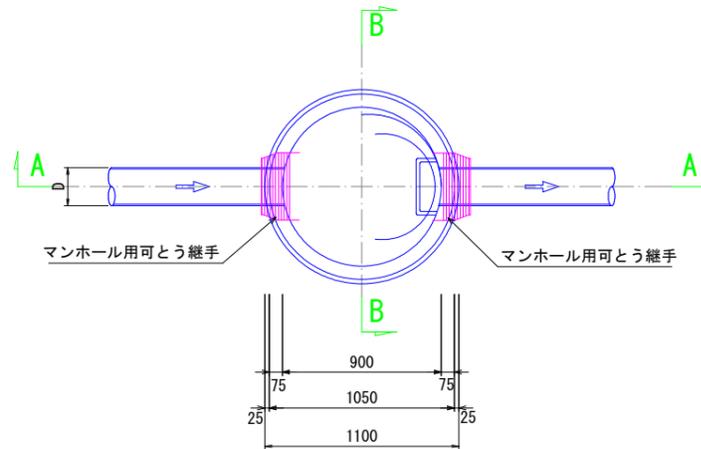
路線番号	9202
工事名	令和7年度 公共下水道21分区枝線工事
処理区名	公共下水道21分区
工事場所	海老名市 河原口六丁目 地内
図面名	復旧範囲図・舗装構成図
図面番号	全4葉の内 第2号
神奈川県海老名市役所	

# 1号組立マンホール標準構造図

縮尺 1:20

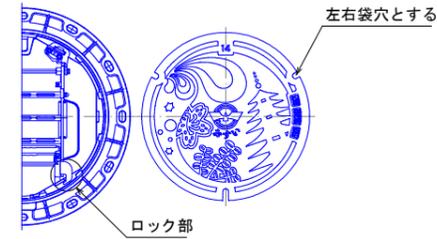
- ※人孔深さH=2.00m以上は転落防止梯子付鉄蓋とすること
- ※緊急輸送路及び2車線以上の場合はマンホール蓋はT-25を使用すること
- ※調整リングは50mmは使用不可とすること
- ※調整モルタルは30mm以上使用すること

平面図

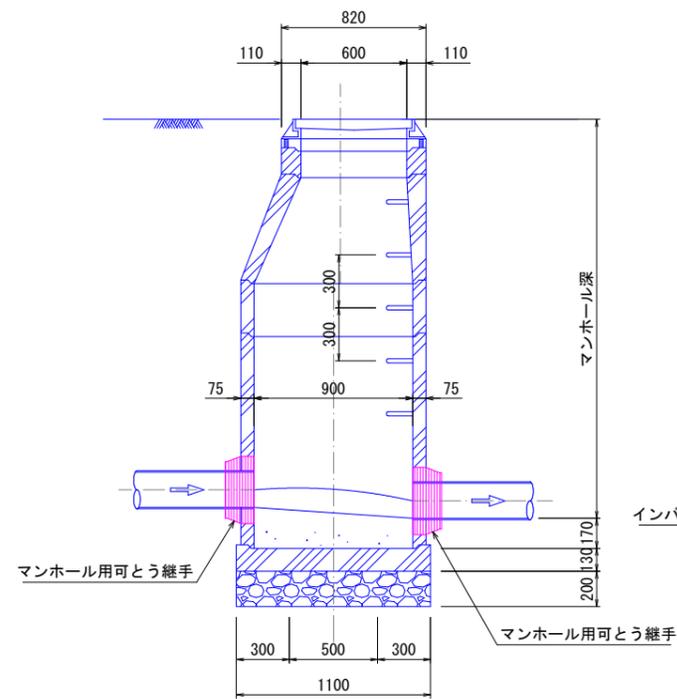


指定鉄蓋

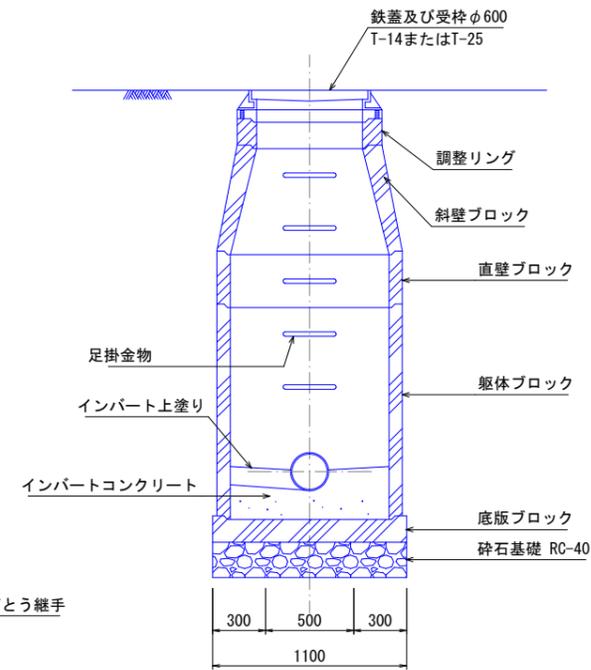
縮尺無し(参考図)



A-A 断面図



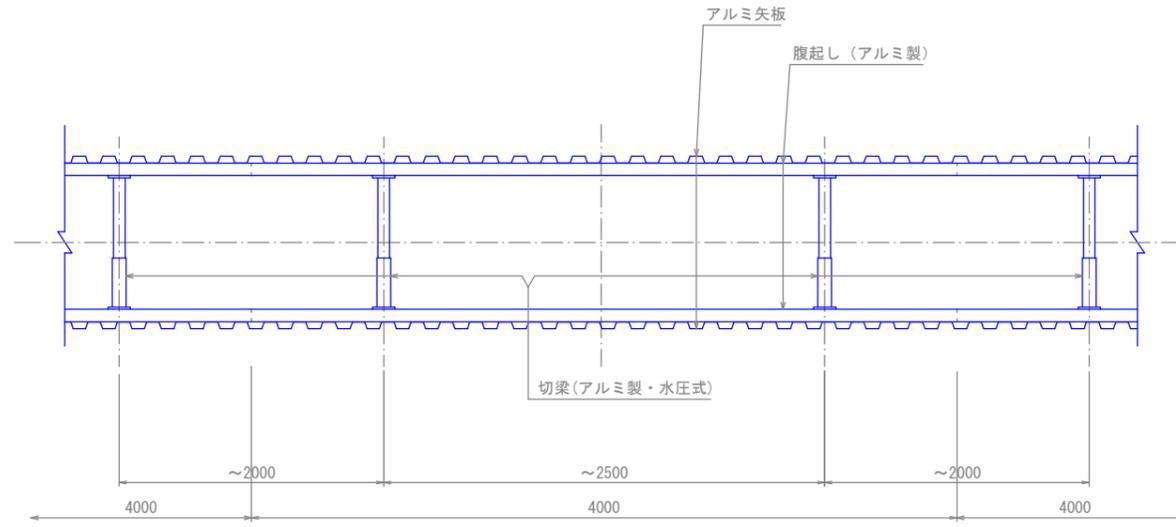
B-B 断面図



工事名	令和7年度 公共下水道21分区枝線工事
処理区名	公共下水道21分区
工事場所	海老名市 河原口六丁目 地内
図面名	マンホール標準構造図 図示
図面番号	全4葉の内 第3号
神奈川県海老名市役所	

# アルミ矢板土留工標準図 縮尺 1:20

## 平面図



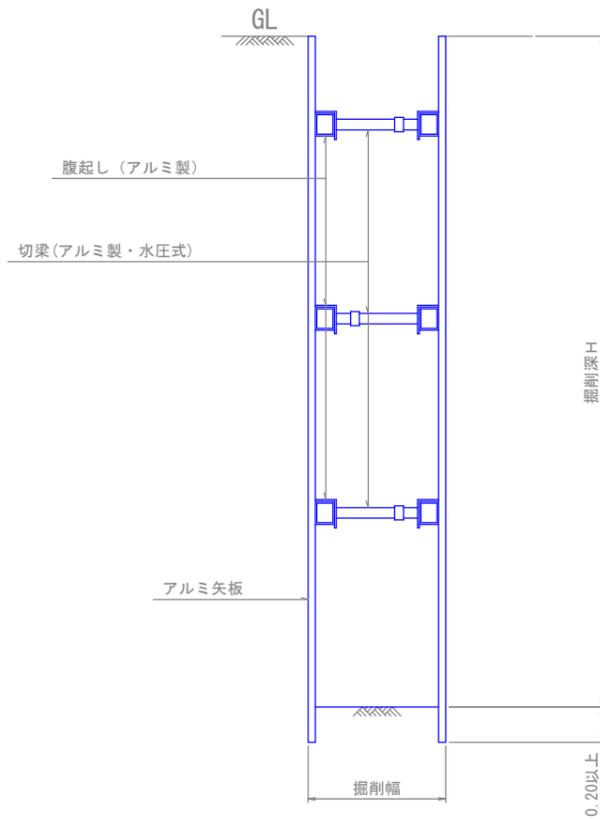
※) 切梁間隔は掘削深度、施工状況を考慮し、安全な間隔で設置すること。

矢板設置基準

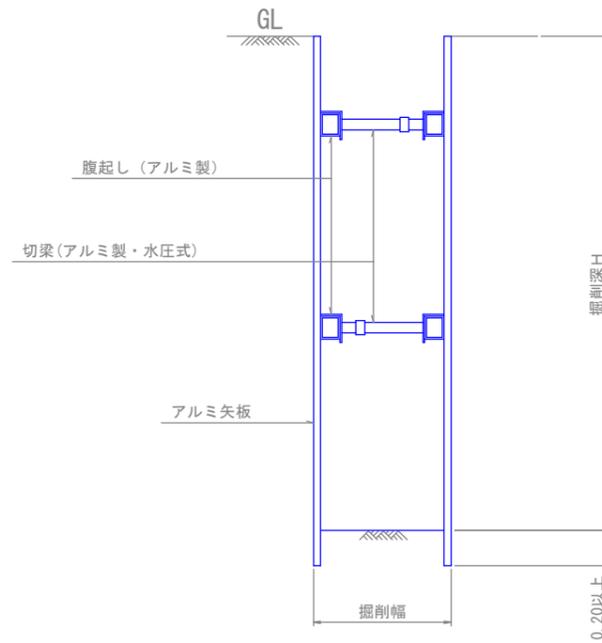
掘削深 (m)	矢板材 矢板長 (m)	支保工段数
$1.5 < H \leq 1.8$	2.0	1
$1.8 < H \leq 2.0$	2.5	1
$2.0 < H \leq 2.3$	2.5	2
$2.3 < H \leq 2.8$	3.0	2
$2.8 < H \leq 3.3$	3.5	2
$3.3 < H \leq 3.5$	4.0	2
$3.5 < H \leq 3.8$	4.0	3

## 断面図

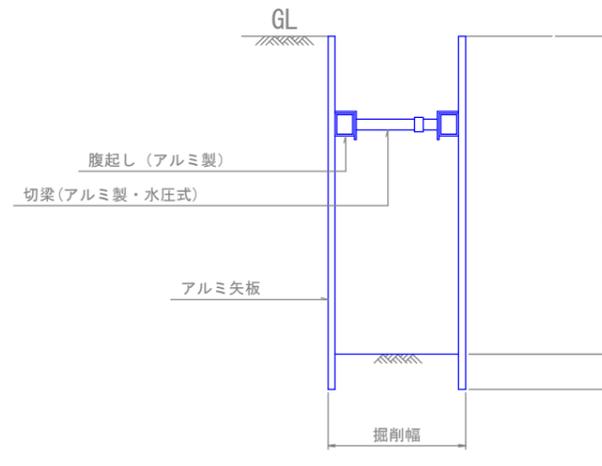
3 段支保  
 $3.50\text{m} < H \leq 3.80\text{m}$



2 段支保  
 $2.00\text{m} < H \leq 3.50\text{m}$



1 段支保  
 $1.50\text{m} < H \leq 2.00\text{m}$



工事名	令和7年度 公共下水道21分区枝線工事
処理区名	公共下水道21分区
工事場所	海老名市 河原口六丁目 地内
図面名	アルミ矢板土留工標準図 頁 1:20
図面番号	全 4 葉の内 第 4 号
神奈川県海老名市役所	